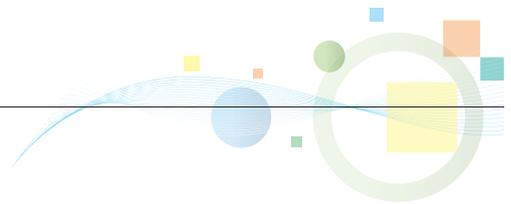


環境経営の基本方針

環境に配慮した製品の開発・製造・販売を
経営の最重要課題のひとつとして位置づけています。



環境・品質保証担当役員のメッセージ

東日本大震災は、自然の脅威について我々に教訓を与え、日常生活における社会基盤の脆弱さを教えるものでした。また、高速道路トンネル内の事故は、高度経済成長期に整備された社会インフラの老朽化への対応について再考を促しているといえます。

一方、年々化学物質に対する規制が強化される中、地球環境を護り、商品開発や生産活動面で環境負荷の低減に取り組むことは、化学物質を取り扱う企業の社会的責任であると認識しています。

当社では環境対応技術を駆使して、環境負荷物質を低減する水性塗料、粉体塗料、室内環境対応形塗料や省エネルギーを実現する遮熱塗料、低温硬化形塗料、社会インフラを支える高耐久性塗料など多様な商品開発に注力し、お客様より高い評価を獲得しています。今後とも環境方針のもと研究開発、原料調達、生産、流通販売、塗装を経て廃棄に至るまでのライフサイクル全体での環境影響を最小とするとともに、環境と調和した事

業活動を推進していく所存です。

また、日本レスポンシブル・ケア協議会(現日本化学工業協会RC委員会)の設立発起人会社としてレスポンシブル・ケア(RC)活動を推進しており、化学物質を取り扱う企業として「環境・安全・健康」を最優先課題としてRC活動に取り組んで活動成果を公表し、積極的に社会との対話・コミュニケーションを展開しています。

今後も法令・規則を遵守し、環境や社会に貢献できる企業活動を進めてまいります。



取締役専務執行役員
管理本部長
せこ よしのり
瀬古 宜範

環境方針

大日本塗料株式会社は、「環境負荷が小さく持続可能な経済社会を築いていくことが重要である」との認識のもと、地球規模の環境保全活動を継続的かつ着実に推進しながら、塗料及び関連製品の開発・製造・販売を通じ社会に貢献する事を基本とする。活動は、以下の環境方針に基づき全員が一致協力して行う。

- ① 製品の研究開発から生産・販売・サービスを経て廃棄に至るまでのライフサイクル全体に渡り、事業活動から生じる環境への影響を常に的確に評価・把握できる環境マネジメントシステムを確立し、実施し、環境汚染を予防する。
- ② 環境マネジメントシステムを実施、維持し、PDCAサイクルによる継続的改善を図る。
- ③ 事業活動、製品及びサービスに係わる環境関連法規制、並びに当社が同意するその他の要求事項を遵守することを約束する。
- ④ 環境保全推進のため、次のテーマを重点的に取り組む。これらの活動は、環境方針に基づき、目的・目標を立て計画的に実施すると共に、内容を定期的に見直し、改善する。
 1. 環境負荷低減を可能にする塗料及び関連製品の開発、販売
 2. 揮発性有機化合物の適切な管理と削減
 3. 産業廃棄物の発生抑制とリサイクル促進
 4. 省エネルギー並びに地球温暖化防止活動
- ⑤ 環境方針は文書化し周知徹底すると共に、グループ会社を含めた全従業員(パート、派遣者等を含む)に対し環境教育を行うと共に、当社の事業活動に関与する人も含めて、環境保全に対する理解と意識の向上を図る。
- ⑥ この環境方針は一般に公開する。